

岡山大学附属中学校 3年 河野ゆずか

私は今回、岡山市子ども海外派遣事業の派遣団メンバー 8人と引率の先生 2人の合計 10人で中国の洛陽市に行ってきました。洛陽市の豊かな歴史と文化に触れ、忘れられない思い出を作ることができました。

Topic01 洛陽のローカルフード！

一番のおすすめ



北京ダック



洛陽では、果物がとても新鮮で安く、毎食たくさんの果物を食べました。私が洛陽で一番おすすめしたい食べ物は、北京ダックです。鶏肉と甘くて濃いめのタレとの相性が抜群で、とてもおいしかったです。次におすすめしたいのは水餃子です。もちもちしていて色によって様々な味を楽しめました。洛陽で餃子は、旅立つ前日など、旅の終わりに食べるものだそうです。



水餃子



洛陽の小さな天使

洛陽で出会ったホストファミリーの赤ちゃんです。まるで歓迎してくれているかのように、ベッドの上でリラックスした姿を見せてくれました。ぷくぷくしたほっぺたや、元気いっぱいの手足がとても愛らしく、見ていただけで心が温かくなりました。また会いたいです。

Topic02 洛陽の焼き物 唐三彩

唐三彩は、唐の時代（7～8世紀）に洛陽で盛んに作られた彩色陶器です。三彩という名の通り、緑、褐色、白（または黄色）の三色を中心に彩られています。ラクダや馬、人物など様々な形があり、当時の文化を伝えています。千年の時を超えても色あせない、洛陽が誇る貴重な芸術品です。現地では制作しているところも見ることができました。私もお土産に馬の唐三彩を買いました。



Topic03 龍門石窟 歴史を学ぶ

龍門石窟は洛陽にある世界遺産で、およそ1400年かけて造られました。岩壁には、10万體以上の仏像が彫られています。穏やかな表情の大仏群は、千年にわたる人々の信仰と芸術の歴史を今に伝えています。実際に見てみると大きいものは17mほどもあるのに、とても細かく彫刻が施されていて、その華麗さとスケールに圧倒されました。



まとめ

今回の岡山市子ども海外派遣事業で、中国の洛陽市を訪れ、多くの貴重な経験を行うことができました。ホストファミリーとの交流を通じて、現地の生活や文化に触れ、温かいおもてなしを受けたことに心から感謝しています。また、唐三彩や龍門石窟といった歴史的な遺産を直接目にするには、教科書だけでは得られない感動と深い学びを与えてくれました。この経験を通じて培った学びを今後活かすとともに、これからも国や文化の違う多くの人々と交流し、理解を深めていきたいと思っています。



洛陽 友好の絆



2025. 7.22~7.31
洛陽市 神崎心玖

【洛陽外国语学校】

Luòyáng wàiguóyǔ xuéxiào

今回私たちがお世話になった生徒の皆さんや先生方がおられるのは“十三中 Shísānzhōng” “洛外 Luòwài”とも呼ばれる洛陽外国语学校です。この学校の歴史は古く、岡山市との友好交流がずっと受け継がれています。



移転したばかりの高校部新校舎もとても立派で、きれいな内装・外装でした。教室と学生寮との距離が近く、朝は早くから、夜は遅くまで勉強ができるようになっているそうです。受験戦争が激しい中国らしいと感じました。



【龙门石窟】 Lóngménshíkū —世界遺産で中国三大石窟の1つ！



小さなものから大きなものまで、約10万体のもの仏像が彫られています。数ある仏像の中で最も大きい「盧舎那仏」は武周を打ち建てた女帝・則天武后がモデルだそうです。何度見てもその迫力には圧倒されます！



←石窟のすぐそばを流れる「伊河」。その川を挟んで向かい側には唐代の詩人・白居易の墓（白園）があります。



中国では外食へ行く文化がある中、私のホームステイ先ではホストフレンドの一可さんの“奶奶”（父方の祖母）が手料理を作ってくれました。谢谢奶奶！

別れ際に食べる水餃子には「送別」「再会」といった意味が込められているそうです。私たちが洛陽外国语学校の皆さんとした最後の食事水餃子でした。



【天子驾六】 Tiānzǐjiàliù



「天子驾六博物馆」は旧洛陽市街地の中心部にあります。「天子」である皇帝が「驾六」6頭の馬に引かせた戦車に乗っていたことを意味します。周代の書籍に記載されていることが初めて実際に確認された遺跡がそのまま都市の地下で観覧できる博物館です。

【应天门】 Yīngtiānmén



隋・唐代“紫微城”の南門を復元した“应天门”。日本からの遣隋使、遣唐使もここを訪れていたようです。漢民族の歴史的な衣装“汉服 Hànfú”を着て散策をすることができます。夜になるとライトアップされより幻想的です。

一昨年に引き続き洛陽市への派遣に参加しました。前回お世話になったホストファミリーが本当の家族のように迎えてくださってとても嬉しかったです。また、今回が二度目の派遣だったからこそ国際交流の楽しさや温かさを改めて感じる事ができました。これからも多くの人と交流しながら語学や文化の理解を深め、学び続けていきます。



令和7年度岡山市子ども海外派遣

洛陽（洛陽）

中国日記 ～洛陽&上海編～

中国を訪れてもっともびっくりしたこと

とにかく町が**クラクションの音**だらけ！！

岡山市立灘崎中学校2年 香山真輝

人口が多いため、クラクションを鳴らすことで自分の存在に気付いてもらえるらしい！

初めて食べた中国料理！

僕は、中国本土の料理を食べることが初めてだったため、とても楽しみでした。食べた瞬間、「おいしいー」と思いましたが、食べ続けると「辛いー」と思いました。

しかし、日本で食べる小籠包や餃子よりも、肉汁たっぷりで美味しかったです。

中国の夜はここ！

中国の夜市

洛陽に着いて2日目の夜、僕はホストファミリーに洛陽の夜市に連れて行ってもらいました。

たくさんの屋台が並んでおり、見たこともないくらいのにぎわいでした。

もう一度行きたいです。

みんなと食べた上海料理



夜市の入り口 (建物がとても高い！)



大きな洛陽の動物園！

僕はホストファミリーと洛陽の動物園に行ってきました。岡山にある池田動物園の10倍は大きいところだったので、驚きました。パンダが見えるかなと思っていましたが、なんと一頭もいませんでした！

中国の伝統服、漢服！

中国の観光スポットを巡るときに漢服を着ました。漢服は、漢民族が紀元前から着ていたとされている服です。実際に着てみると少し暑かったですが、歴史を感じることができました。

動物園にいたキリン



伝統服の漢服



急な天候不良！？

日本に帰ると思って乗った飛行機。何時間も動かないまま機内食だけ食べて、台風の影響で飛ぶことができなくなり、上海でもう一泊することに！

それでも、仲間たちともう一日一緒にいられることになってうれしかったです！

動かない飛行機の中で食べた機内食



外の様子



学んだこと

日本とは違って、中国では基本的に辛い物を食べていることが分かりました。また、僕のホストファミリーだけかもしれませんが、ほとんど毎食外食で、朝から屋台のようなところで食べてから学校に向かうことを知りました。

三国志に出てくる関羽は、偉大な存在であることが分かり、大きな寺のようなものが関羽の墓でした。中国には歴史的な建造物がたくさんあり、驚きとともに感動しました。

洛陽新聞

洛陽 行ってどんな場所？

洛陽は昔、九つの王朝で都とされた都市です。また、世界遺産にも登録されている、**龍門石窟**もあります。僕たちは洛陽について初日に、その龍門石窟に行きました。他にも洛陽は牡丹の産地としても知られており牡丹の花からつくられたお茶はお土産にもぴったりです！さらに、この洛陽は唐の時代につくられたとされる「**唐三彩**」の代表的な産地です。華麗な色彩と多様な形態を持つ唐三彩は中国の陶磁文化を代表する作品としても知られています。



休日の過ごし方

最初は不安と緊張でいっぱいだった洛陽での暮らしも、優しいホストファミリーや洛陽で出会った現地の人たちのおかげで、すぐに馴染むことができました。



ホストファミリーと共に過ごした休日では、いろんな体験をしました。一日目には車で、さすがに広がるきれいな所へ連れて行ってもらったり**蝦餃**（ハーガウ餃子）のようなものという、とてもおいしいものを作ったりしました。



他にも**世界初の古墳**をテーマにした博物館、**洛陽古城博物館**にも行きました。最終日には洛陽の旧市街にある歴史的遺跡の**洛陽古城**にも行きました。大きなお城には、すごい迫力がありました。



他にも**世界初の古墳**をテーマにした博物館、**洛陽古城博物館**にも行きました。最終日には洛陽の旧市街にある歴史的遺跡の**洛陽古城**にも行きました。大きなお城には、すごい迫力がありました。

洛陽にあった日本の物



ショッピングモールに行くと、日本のラーメン店、銀じろうや、日本料理を売っているブースもありました。久しぶりにひらがなを見つけてプチ感動しました。

日本料理のことは、中国語で「日式料理」というようです。



中国の食について



洛陽最後の昼ご飯は、学校みんなと水餃子を食べました。中国では水餃子は仲間を見送るときに食べるものとされ、見送られる人が無事であることを願って作るとされています。

中国の伝統的な漢服



漢服（かんぷく）は中国の古来からあるとても歴史の長い伝統的な服で、結婚式などの大切な場面などに着るとされています。意外に簡単に着れてびっくり！ほくはこれをお土産にももらいました。中国に行ったら是非着みてください。

中国のスマホ事情

中国にはラインがなくその役割はすべて、**We chat** というアプリがこなしています。We chat はゲームをしたり、Instagram みたいに写真などを投稿したりすることが出来ます。We chat には We chat Poy という機能があり、支払いは現金はあまり使わず、だい

中国の暮らし



中国では基本的に家で料理をせず大体が、外食でした。また、中国の人は日本人の何倍の量のごはんを食べます。中国では日本よりも身近にバイクがあります。移動の大半が車かバイクです。僕もバイクの後ろに乗せてもらいました。とても楽しくいい体験になりました。中国にもゲームセンターがありホストファミリーの人たちと楽しく遊びました。

まとめ

不安と緊張でいっぱいだった中国派遣、最後は人生に残るとてもいい思い出になりました。失敗の連続だったけど、一緒にいった仲間やホストファミリーのみんな、現地であった人たちのおかげでとても楽しい旅になりました。一緒にいった仲間と、帰ってきた日に打ち上げにも行きました。このようにこれからもつながりを持っていきたいです。そして、また中国に行く機会があれば、必ず洛陽にも行き僕の成長した姿を見せてあげたいです。



♡ 洛陽 ♡

2025・2年 吉岡 いこ

♡私は今回初めて中国の洛陽に行っても印象が変わりました♡



ホストファミリーがお化け屋敷に連れて行ってくれました。



いろいろな食用の種の店



屋台のお店で今はやっているらぶぶを買ってくれました！



信号はに大きくて目立っていました。



屋台のお店



ボタンのアイス

食後にボタンの可愛いアイスができました。材料を聞いてみると純牛乳、ヨーグルト、ドラゴンフルーツで作れるらしいです。



私のホストファミリー

いろいろな計画を立ててくれたおかげで時間いっぱい楽しめることができました。体調のことも気にしてくれてとてもやさしかったです。そして何より手料理が上手で毎日ご飯の時間が楽しかったです！



熱いスープをストローで！

とても美味しかったです。



地下鉄に乗った

地下鉄に乗る前に手荷物検査がありました。日本の地下鉄よりも厳しくて驚きました。全体的に新品みたいにきれいでした。



漢服を着て絶景の景色を見に行った!!

私がホストファミリーに「漢服を着てみたいです！」と頼んでみたら想像以上にクオリティーが高くてびっくりしました。

漢服はいろいろな色や形の種類があり、自分の好みが選べられます。そして本格的な髪型や大胆なメイクをしてもらえます。かわいい服やメイクが好きな私にはとても楽しい経験でした。



ゲームセンター



回転小鍋

日本の回転寿司みたいにいろいろな食材が回ってきます。自分で調理する自由なところが楽しかったです。

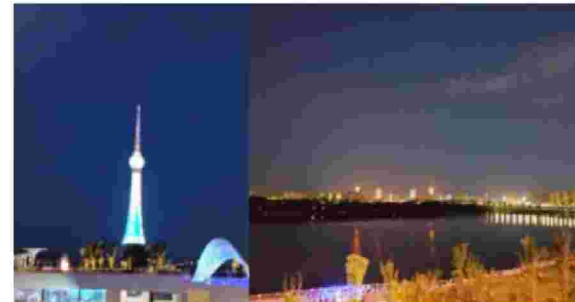


竜門石窟

想像を超える大きさでとても迫力がありました。細かく掘っているところがとても可愛かったです。

気が付いたこと

- ・大きな声の人が多い。
- ・皆さん優しい。
- ・意見がはっきりと言える。
- ・間違えても笑って過してくれる。



きれいな夜景

家で晩御飯を食べた後から出かけることが多かったです。昼は暑いから夜に出かけることが多いそうです。毎日お祭りみたいで楽しかったです。

洛陽日記

重森琴音

一日目

岡山空港から飛行機で上海へ出発しました。

二日目

洛陽に移動し、龍門石窟に行きました。仏像は大きなものは17m、小さいものは2cmで大小合わせ約10万体もあります。そのあと洛陽市の方々に歓迎会を開いていただきました。

三日目

洛陽外国語学校の人たちと一緒に書道体験をしました。「高興萬歳」と書きました。清書はホストファミリーと交換しました。次に洛陽隋唐大運河博物館に行きました。焼き物や船の模型などが見れて、運河の歴史について知ることができました。夜、ホストファミリーに家の近くの植物園に連れて行ってもらいました。

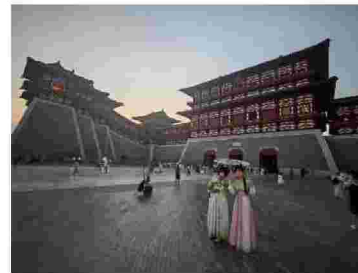


四日目

学校で歓迎会を開いてもらいました。伝統的な楽器を弾いたり、踊ったりしてくれました。私たちはリコーダーやスライド発表、うらじゃ音頭を披露しました。その後、洛邑古城に行き、そこで筆づくり体験をしました。

五日目

午前中、ホストファミリーにもう一度、龍門石窟に連れて行ってもらいました。最初に行ったときは時間がなくあまり見れなかったのがよかったです。午後は漢服を着て応天門に行きました。漢服は裾が長くて少し歩きづらかったです。夜になると、ライトアップされ綺麗でした。



六日目

ホストファミリーと関林廟に行きました。三国志に出てくる関羽のお墓です。また、洛陽老城の麗景門にも行きました。いろいろなお店があっておもしろかったです。

七日目

学校の人たちと一緒に唐三彩の工房兼博物館に行きました。昔につくられた物の複製品やゆるキャラなどのかわいい作品がありました。中国ではお別れの時、餃子を食べるそうで、お昼に食べました。

八日目

洛陽を出発して上海に着きました。上海では豫園と夜景を見に行きました。

九日目

飛行機が台風で飛ばなかったため、上海にもう一泊しました。次の日帰ることができました。

感想

出発前は、家族と離れて一週間も海外で過ごすのは不安だったけど、行ってみると楽しくて洛陽のことが大好きになりました。ホストファミリーの子が日本語で話しかけてくれたことが、とてもうれしかったです。この経験を積極的に生活に活かしていきたいです。

洛陽新聞

桑田中 2年 小堀智生

洛陽市とは？

人口約700万人、中国内陸部に位置しています。岡山からの移動手段は、上海経由で、空路で鄭州、そこから陸路で2.5時間の距離にあります。東周、隋や唐、魏などの王朝の首都であり、また世界遺産の龍門石窟もあります。岡山市の姉妹都市なので、岡山市と同じぐらいの人口だと思っていたら、約10倍、デパートの数が200軒とスケールの違いに驚きました。



大都会洛陽！



龍門石窟！

国際交流の日程

7/22-7/23 岡山から上海（1泊）経由で洛陽市へ
 7/24-7/25 洛陽外国語初級中学の生徒たちと交流。
 7/26-7/27 ホストファミリーとホームステイ生活
 7/28 洛陽外国語初級中学で交流
 7/29-7/30 洛陽から上海（1泊）経由で岡山へ
 7/31 台風による欠航で、帰国が延期●

洛陽外国語初級中学での交流

街も大きいし学校も大きい



グループで岡山市の紹介や、うらじゃ音頭を披露しました。中国特有の合唱を見せてもらいました。高いレベルの出し物でした。



考えていることは、ゲームや漫画など日本の中学生と同じでした。漫画は特にNARUTOが人気でした。日本の漫画は聞いたとおり、海外では人気だと思いました。英語に加えて、第二外国語として日本語を勉強している生徒は、将来日本に行ってみたいという人が多くいました。

また、交流活動で見に行きましたが、唐三彩の何度も手間をかけて作っていく工程は、釉薬を使わない素朴な備前焼と対照的で興味深かったです。

ホストファミリーとの楽しいホームステイ生活

ホストファミリーには、龍鳳山荘、応天門、洛陽古城の夜市など多くの場所に連れていってもらいました。活気あふれる夜市では、中国特有の食べ物や置物などを買

ったり見て回ったりして楽しい長い時間を過ごしました。

ホームステイ先のジュンイ君には、マンション下のショッピングモールに連れて行ってもらったり、マンション下の公園で毎朝一緒にバドミントンをしたり楽しませてもらいました。



また、中国はバイク社会でした。ノーヘルメットも中国では当たり前でした。移動の際には、バイクの後ろに乗せてもらい、ちょっとスリリングで楽しかったです。道には岡山で言う「ももちゃり」のようなレンタルバイクもたくさん置いてありました。



中国での食文化

中国では、よく外食をします。家族で過ごす時間がたくさんもていいなと思いました。また、日本は完食するのが良いとされていますが、中国では少し残すのがマナーです。そして、水分補給のためにもよくスイカが出てきました。

朝ごはんは小籠包が良く出てきました。



最後に

実際に見た中国はスケールに圧倒されました。洛陽は歴史ある街でありながら、人や街にとっても活気があり、日常生活から元気をもらえる場所でした。洛陽の人たちはとても親切で、互いに助け合う気持が強いと感じました。街全体にもぎやかで、エネルギーにあふれていました。

派遣前は不安もありました。しかし、優しいホストファミリーに家族のように接していただき、日本に帰らないと思うくらい楽しく、中国洛陽が大好きになりました。朝早くから夜遅くまで、さまざまな体験をさせてくださったホストファミリーには感謝しかありません。

今回、日本と違う文化に触れることで、自分の考え方の幅が広がったように思います。この経験を通して、実際に自分の目で見ることの大切さ、また、言葉の違いを超えて交流できることの大切さを学びました。将来、また洛陽を訪れたいです。



経由地の上海では料理や都会の街を楽しむことができました。



令和7年度 岡山市子ども海外派遣 中国・洛陽 日記報告

向井 博紀

Day 1

上海到着。初めて中国に行き、緊張したけど岡山の友達と仲良くなることができ、とても楽しかった。夜、上海のスーパーを訪れた。スーパーの前には椅子やテーブルがあり、人々が軽食を取りながら談笑していた。中国ではスーパーも交流の場の一つになっているのだと感じた。

Day 2

洛陽到着。レストランで中華料理を昼食に食べた後、竜門石窟に行った。そこでは昔からの歴史を自分の目で見て感じる事ができた。そのあと、歓迎夕食会でホストファミリーの子ども達と初めて会い、ホストファミリーの家に初めて泊まった。緊張していたけど、とても優しく接してくれて嬉しかった。

Day 3

初めて洛陽外国語初級中学に行った。中国書道の時間では中国の漢字を先生方やホストファミリーの子ども達に教えてもらいながら、筆で書く練習をした。日本の漢字とは似ているところも異なっているところもあり、難しかったけれどとても面白かった。

Day 4

午前には岡山市の友達と洛陽外国語初級中学のみんなで文化交流をした。一緒にうらじゃを踊ったり、素晴らしい中国の歌やダンスを披露してもらったり、とても楽しかった。その後はみんなで洛陽古城に行き、昔の洛陽にタイムスリップしたみたいで楽しかった。ホストブラザーの嘉豪くんとは、洛陽古城での買い物や筆作り体験を通してもっと仲良くなる事ができ、嬉しかった。



Day 5

週末はホストファミリーの人たちと自由に過ごす日。午前はホストファミリーと一緒に竜門石窟に行き、いろんなポーズの仏像をゆっくり時間をかけて見る事ができた。午後は屋台が並んでいるところに行ったら、ホストマザーが豆腐皮の串焼きを買ってくれたので食べてみたら、肉みたいな歯ごたえで旨辛だった！豆腐皮の串焼きのイメージ↓



Day 6

この日もホストファミリーと一緒に一日過ごした。午前は一緒に桃狩りに行った。洛陽も岡山も桃を作るけど、桃の形が違って、おもしろかった。お昼は、ホストファミリーと親戚の家で餃子を作って食べた。人生で初めて作ったが、教えてもらいながら上手に作る事ができた。午後はホストブラザーの嘉豪ちゃんと漢服を着て、隋唐洛陽城と一緒に写真を撮った。お別れの日が近づいてきて、だんだん寂しくなってきた。



Day 7

たくさんの唐三彩が展示されている博物館に行き、唐三彩の歴史を学んだ。お土産用に唐三彩をいくつか買った。そのあとは洛陽外国語学校高校部を見学した。現地の学校に入ることはなかなかできないため、雰囲気を知る貴重な体験になったと思う。ホストファミリーの家に泊まる最後の日になった。

Day 8

朝、ホストファミリーとお別れをした後、上海に移動し、上海豫園で中国の建築様式を学んだ。日本の建築様式と比べてみて面白かった。

Day 9

帰国予定だったが、上海から広島に帰る飛行機が欠航になり、もう一日上海に宿泊することになった。晩御飯は中国の麦当劳(マクドナルド)でテイクアウトをした。

Day 10

上海から岡山に帰った。帰れた嬉しさよりも中国を離れる寂しさのほうが大きかった。また洛陽に行きたい。次は岡山にもぜひ来てもらいたい。



洛陽に行ってホームステイをするという貴重な体験を通して、生活・文化・暮らし・価値観の違いを見ることができておもしろかった。またコミュニケーションを取る努力をしたことで、人の優しさは万国共通で伝わるということもわかった。今回の経験を生かして、文化が違う人とも積極的にコミュニケーションを取れるようになりたい。